



2017.7

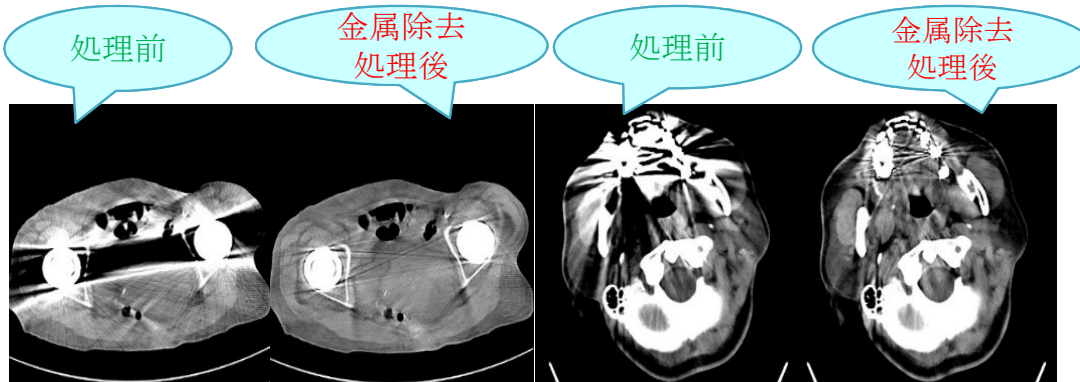
Information

小暑の候、皆様には、ますますご健勝のことと存じます。
コスモス病院放射線部では、CT・MRIの装置更新に伴い、今年度より定期的に各装置について、情報提供をさせていただきます。また、本内容については、うすき石仏ねっと「掲示板」に掲載しております。放射線部一同頑張っておりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

今回のCTは、以前より画質が向上しました

1 金属除去処理 (iMAR)

金属アーチファクトにより、金属およびその周囲が不鮮明となり、画像の劣化を招きます。今回新機能の金属除去処理 (iMAR) の使用により、鮮明な画像として提供できるようになりました。iMARとは、撮影画像の金属部より離れた場所や、金属部に接した場所の欠損した微弱なデータに、再構成関数を加えて再度計算することにより描出できるようにする方法です。改善が期待される撮影では、手術による人工関節や歯科の充填物等によるアーチファクトの改善に有効です。下図のようにiMAR使用により画質の改善が図れます。(図1~2に参考画像を提示します)



(図1 人工関節)

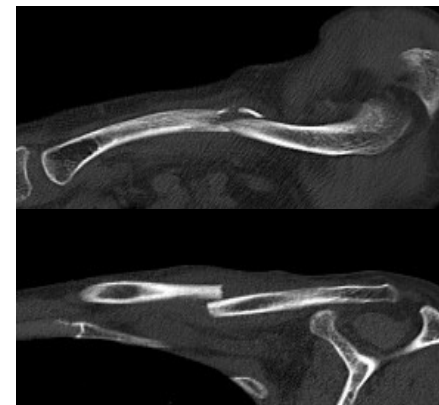
(図2 歯科の充填物)

CT装置 シーメンス
SOMATOM Definition As⁺

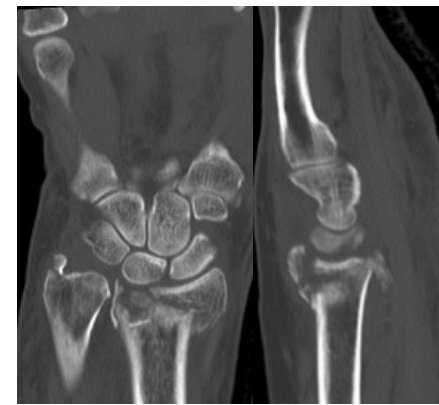


2 整形分野での画像

骨折の転位や骨片の状態など、CT撮影により多方向から観察できます。骨の再生などのフォローアップにも有用で、任意の断面作成により、詳しく把握できるようになりました。(図3~4に参考画像を提示します)



(図3 鎖骨骨折)



(図4 手関節骨折)



128列マルチスライスCTになり、息止めが以前の半分になりました。また、画質の向上と被ばくの低減が可能になり、患者様により優しくなりました。

次回は、CT装置の検出器の性能についてです。
ご不明な点がございましたら、放射線部までご連絡お願いいたします。
(電話番号 62-5599 内線 151)